

今こそ地域を救うために

特集 内灘町消防団

令和6年能登半島地震による
主な消防団活動

安否確認、避難誘導、被害状況確認、警戒広報活動、給水活動、支援物資搬入・搬出、倒壊区間の交通整理、仮設トイレの水替え等々
その他地域の要望に応じて活動を行いました。



若い力で地域を守る

令和5年12月から入団した濱江愛音団員は現在高校に通いながら、学業と地域の消防団活動を行っています。



団本部 濱江愛音団員

濱江愛音団員は母親が仕事をしながら地域のために活動している姿を見て、誰かの助けになりたいと思いついて入団を決意しました。

発災後は電気配線やガス管の破損により火災の危険が高まるため母親と共に火災予防を呼びかけました。

濱江愛音団員は「今後も自分たちの行動で一人でも多くの命が助かると考え活動していきたいです。」と話しました。



InstagramやYouTubeも見てね



UCHINADA_SHOBO

内灘町のまもりびと



内灘町消防団 団長挨拶

令和5年4月1日に内灘町消防団長に就任しました中村睦と申します。

まず初めに年頃から発生しました令和6年能登半島地震で被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。また、犠牲になられた方々に、謹んで追悼の意を表します。

私たち消防団は地域防災の要として、自らの地域は自らで守るといふ郷土愛の精神で町民の皆様方の「安全・安心な街づくり」のために日々活動しています。令和6年能登半島地震によって町内においても道路の隆起や陥没のほか、断水や家屋への被害が多数発生しており安否確認や避難誘導等に従事しました。今こそ地域を救うため消防団としてできることを全力で取り組んでいきます。

これからも、町民の安全・安心のためにより一層組織の充実強化を図り、誠心誠意努力を重ねて行く所存です。皆様のご支援・ご協力を心からお願いいたします。



第28回全国女性消防団員活性化 石川大会が行われました



全国から2,000人以上が集結

令和5年11月16日(木)に石川県金沢市のいしかわ総合スポーツセンターにおいて、第28回全国女性消防団員活性化石川大会が開催されました。この大会は、平成6年から開催しており県内外から約2,000名を超える女性消防団員の方々が一堂に会し、日頃の活動やその成果を紹介しました。意見交換を通じて連携を深め、女性消防団員の活動をより一層活性化させることを目的として開催しています。

内灘町団員が司会進行役を務めました

内灘町消防団の濱江裕子団員と他団員の合わせて3人で司会進行役を務めました。

濱江団員は「とても緊張しましたが、貴重な経験となりました。全国から集まる女性団員との交流に良い刺激をもらい、今後の消防団活動に活かしていきたい」と話しました。



消防団員体験教室を実施しました

令和5年9月2日(土)に内灘町文化スポーツ課が主催するわくわく土曜体験教室の一環として、消防団員体験教室を開催し、児童9名が参加しました。

地域を守る消防団員から、防災に関する知識を学び、ロープ結び、煙体験避難、放水などを体験しました。

消防団としても児童たちに消防団の活動を知ってもらう良い機会になったと実感しており、参加した児童は団員の話に熱心に耳を傾け、積極的に取り組んでいました。

